

令和4年度子育て世帯タウンミーティング

(伊東市保育園父母の会連合会) 意見一覧

- ① 子育てしやすい環境づくりについて
- ② インフルエンザ等の予防接種費用の公費負担について
- ③ 保育料等の負担軽減について
- ④ 医療体制の整備について
- ⑤ 病児・病後児保育事業の充実について
- ⑥ イベント等の充実について
- ⑦ 保育士の補充について
- ⑧ 新型コロナウイルス感染症対策に要する職員の増員について
- ⑨ 新型コロナウイルス感染症対策に係る予算の増額について
- ⑩ 子どもが利用できる施設の充実について

意見	区	子育て世帯-①
<p>子育てしやすい環境づくりについて【父母の会連合会】</p>		
<p>育児休業や家族看護等休暇の取得促進、残業時間の短縮、フレックスタイム制の導入など、仕事と子育ての両立に対する支援や、子育てに優しい活動に取り組む企業が増えるような環境づくりをしてほしいです。</p>		
<p style="text-align: center;">回 答</p>		
<p>伊東市は、令和4年7月に、公益社団法人日本青年会議所が展開するベビーファースト運動への参画を宣言いたしました。この運動は、企業や行政がみんなで赤ちゃんを育てていく優しい社会を目指す運動であり、市といたしましても、子育てに優しい活動に取り組む企業が増えるような環境づくりを目指してまいります。</p> <p>具体的には、従来から、市内企業の経営者や経済団体の長などで構成する「伊東市雇用問題対策会議」を設置し、雇用環境の改善に対する取組の醸成を図り、労働環境や待遇の改善につなげることを目的とした意見交換等を行っておりますので、仕事と子育ての両立に対する支援などについて積極的な意見交換をすることで、労働者が働きやすい環境づくりなど、様々な面での支援について検討してまいります。</p>		

意見	区	子育て世帯-②
インフルエンザ等の予防接種費用の公費負担について【父母の会連合会】		
インフルエンザ等の予防接種の費用を公費で負担してほしいです。		
回 答		
<p>子どもに対する季節性インフルエンザワクチン接種につきましては、予防接種法に基づく定期接種の対象ではない任意接種となっていることから、公費助成の対象となっていない状況でございます。</p> <p>今後も引き続き、予防接種法における取扱いの動向を注視するとともに、公費負担を実施している市町の状況について、研究してまいります。</p>		

意見	区	子育て世帯-③
<p>保育料等の負担軽減について【父母の会連合会】</p>		
<p>乳児クラス（0～2歳）の保育料や給食費の無償化など、保育園にかかる費用負担を軽減してほしいです。</p>		
<p style="text-align: center;">回 答</p>		
<p>国の幼児教育・保育の無償化制度におきましては、幼児教育の必要性を重要視する趣旨のもと、3歳から5歳児の無償化が実施されているところであり、0歳から2歳までの子どもにつきましては、住民税非課税世帯は利用料を無償としており、また、子どもが2人以上の世帯の場合は、保育所等を利用する最年長の子どもを第1子とカウントして、0歳から2歳までの第2子は半額、第3子以降は無償としております。</p> <p>また、5歳児につきましては、保育料に加え、主食費、副食費といった給食費も市独自に無償化し、保護者の負担軽減を図っておりますが、0歳から2歳までの保育料や3歳から4歳児の給食費の無償化、減額については、国の制度の動向を注視してまいります。</p> <p>なお、必要な経費を試算したところ、0歳から2歳児までの保育料を無償とする場合、対象人数が約300人で、年間8,000万円、さらに、3歳から4歳児の給食費を無償とする場合、対象人数が約310人で、年間1,570万円かかり、両方合わせると年間1億円近い財源が必要となります。完全無償化には高額な経費が必要となりますが、本市の子育て世帯の皆様にも有効な支援策であると認識しておりますので、今後も検討してまいりたいと考えております。</p>		

意見	区	子育て世帯-④
<p>医療体制の整備について【父母の会連合会】</p>		
<p>小児科医を確保するなどし、子どもたちが安心して医療機関に受診できるような体制を整えてほしいです。</p>		
<p style="text-align: center;">回 答</p>		
<p>現在、市による小児病院の設置予定はございませんが、伊東市民病院における医師確保に対し交付金を交付するなどし、小児の診療機能等の充実及び向上を図るとともに、小児科を標榜する市内診療機関との機能分担と連携をより一層推進し、病診連携の強化を図り、地域全体の小児医療体制の充実を進めてまいります。</p>		

意見	区	子育て世帯-⑤
<p>病児・病後児保育事業の充実について【父母の会連合会】</p>		
<p>病児・病後児を預かってくれる施設を増やしてほしいです。</p>		
<p style="text-align: center;">回 答</p>		
<p>現在、市内では、川奈臨海学園りんかい保育室において、病児対応型の保育を実施しておりますが、低年齢児を対象に感染症へのリスクに対応しながら安全な保育を提供し、事業を継続していくといった、非常に難しい事業でございます。</p> <p>本事業の実施にあたっては、病気の児童を看護する看護師等の配置や、専用スペースの確保、医療機関との連携などといった条件を満たすことが必要であり、実施できる場所が、病院、診療所、保育所等に付設された専用スペース又は病児保育を行うための専用施設であることから、事業拡充が困難ではありますが、お住まいの地域によっては、川奈臨海学園を利用したくても利用できない世帯もあると思われまますので、今後も検討してまいります。</p>		

意見	区	子育て世帯-⑥
<p>イベント等の充実について【父母の会連合会】</p>		
<p>親子や兄弟でも楽しめるイベントや講習などの場を増やしてほしいです。</p>		
<p style="text-align: center;">回 答</p>		
<p>市では、児童館や子育て支援センターなどの施設を中心に、季節の行事やお楽しみ会、制作遊びなどのイベントを実施し、乳幼児から中高生まで、幅広い年代のお子さんや保護者の方々に参加していただいております。</p> <p>また、家庭教育支援事業や小学生ふるさと教室など、親子や兄弟でともに楽しみながら学び、様々な体験ができる講座も開催しております。</p> <p>今後につきましても、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、皆様にとってより良いふれあいの場、学びの場となるよう充実を図ってまいります。</p>		

意見	区	子育て世帯-⑦
<p>保育士の補充について【父母の会連合会】</p>		
<p>保育士が新型コロナウイルスに感染又は濃厚接触者になる等して出勤できなくなった場合に、迅速に臨時保育士を手配してほしいです。</p>		
<p style="text-align: center;">回 答</p>		
<p>全国的に保育士不足が課題となっている中、市内保育園においても、保育士の人員確保は喫緊の課題となっており、その中で、さらに代理として働ける保育士を確保しておくことは大変難しい現状でございます。</p> <p>また、保育園では、職員同士が連携を図りながら、一日の保育の積み重ねで子どもの成長をみており、日頃の子どもたちとの関わりを最も大切にしていますので、継続的に雇用した職員による配置で運営しております。</p> <p>なお、職員が新型コロナウイルス感染症の影響で出勤できない場合の対応として、園の職員配置の状況によっては、国の指針に基づいた濃厚接触者の期間短縮を適用して職務に当たることがございます。</p>		

意見	区	子育て世帯-⑧
新型コロナウイルス感染症対策に要する職員の増員について【父母の会連合会】		
保育園の消毒作業等を徹底できるよう職員を増やしてほしいです。		
回 答		
<p>消毒作業等につきましては、新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染を防止する上で大切な作業であり、保育士だけでなく園に関わる職員全体で取り組んでおります。</p> <p>職員の増員につきましては、消毒作業等も含め、本市の保育園運営を見据えた中で計画的に採用していく考えでございます。</p>		

意見	区	子育て世帯-⑨
<p>新型コロナウイルス感染症対策に係る予算の増額について【父母の会連合会】</p>		
<p>園内で使用する消毒液等の衛生用品や感染防止用の物品購入費等の予算を増額してほしいです。</p>		
<p style="text-align: center;">回 答</p>		
<p>国の新型コロナウイルス感染症対策事業に基づき、令和3年度からの継続事業かつ市の重要施策として、保育園等において、マスクや消毒液などの衛生用品の購入に係る経費や、空気清浄機など感染防止用の備品購入に係る経費を予算措置し、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供していくための体制確保に努めております。</p> <p>なお、今年度は、国の新たな事業である感染症対策のための簡易な改修事業を活用し、保育園や子育て支援事業において、トイレ・調理場の乾式化や非接触型の蛇口の設置といった改修に要する経費を予算計上し、施設の感染対策の強化を図っております。</p>		

意見	区	子育て世帯-⑩
<p>子どもが利用できる施設の充実について【父母の会連合会】</p>		
<p>児童館や子育て支援センターといった子どもが利用できる施設を増やしてほしいです。</p>		
<p>回 答</p>		
<p>児童館につきましては、既存の中央児童館及び玖須美児童館をより多くの方に利用していただけるようイベント等の充実を図るとともに、財源的な課題はありますが、新たな施設につきましても検討してまいります。</p> <p>子育て支援センターにつきましては、現在独立型2か所、保育園併設型5か所の計7か所あり、市内のどこの地区にお住まいでもご利用いただけるよう、バランスよく配置しております。</p> <p>利用人数は、平成30年度をピークに減少傾向にあり、少子化に伴う子どもの数の減少や、新型コロナウイルス感染症対策の影響で密を避けた利用にご協力いただいていることなどが、要因であると考えます。</p> <p>現状を踏まえますと、子育て支援センターの施設数を増やすことは見込んでおりませんが、子育て中の親子が気軽にご利用できるよう、取組内容の充実を図ってまいります。</p>		